

決 裁	議 長	局 長	主 事

受付

報 告 書

平成 年 月 日

湯前議会議長 山下 力 様

湯前町議会議員

議員派遣として参加（出席）した研修（会議）の内容（結果）は、次のとおりでありました。

期 間	平成29年12月 1日（金）
場 所	熊本県議会「本会議場」
目 的	松田三郎県議 一般質問傍聴

報 告 の 内 容	<p>◆はじめに</p> <p>町議会としての県議会傍聴は、緒方県議の一般質問に続き2回目。</p>
	<p>◆質問項目と本町の課題</p> <p>1. 多子世帯の保育料軽減措置の拡充について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の政策を待ってからでは遅い。（2～3年先） ・県知事の3期目マニフェストに沿って、H30年度に向けて検討する。 <p>【本町の課題】 県と国の動向を見極める。</p> <p>2. 熊本地震関連について</p> <p>(1) 復旧・復興のこれまでの評価とこれからの課題について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで総額7300億円の復興予算。 ・チーム熊本で、継続して「復興」補正予算を求めていく。 <p>(2) 益城町の土地区画整理事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県道「熊本－高森線」の4車線化。 ・12月定例会で7億3300万円の「土地区画整備」先行取得の補正予算。 ・国への予算要望は力技。 → 政治の出番（時には厚かましく）

(3) 「大空港構想Next Stage」における阿蘇くまもと空港へのアクセス改善について

- ・50年～100年後を見据えた抜本的な整備が必要。
- ・H31年度の桜町再開発、H33年度の熊本駅ビルで、交流人口が増える。
- ・時間的・緊迫性をもった検討が必要。

【本町の課題】関連で、長期を見据えた高規格道路の整備が必要。

3. 球磨川の治水対策について（要望）

- ・協議会が開催されておらず、スピード感を欠いている。
- ・事業費の検討も必要。

4. 国営川辺川土地改良事業について（要望）

- ・H34年3月完了予定。
- ・地元がまとまらなかった。
- ・営農、用水、補助など、更なるテコ入れが必要。

◆研修目的と所感

【目的①】一般質問の仕方を学び、議会力・議員力の向上を図る。

- ・議場に入る態度や一般質問の言動など、県議会議員の品格を改めて感じた。
- ・県議会の一般質問は「一括方式」。質疑の論点、議場の緊張感の観点から、多くの自治体で取り組む「一問一答方式」のほうが、執行部の考えをより追及できる。

【目的②】県議の考えを理解し、本町の振興発展に繋げる。

- ・県議の考えを理解する上で、一般質問は最高の情報収集ツール。今後も、県議各位の一般質問を議会中継などで確認して、「本町の課題」を抽出し、町の振興発展に繋げていく。

【目的③】地元選出県議会議員を応援し、県議共に地域を育てる。

- ・町村は、政策実現のために国や県との連携が欠かせない。今回、松田県議の一般質問を傍聴したことは、本町にとっても議員各位にとっても、大きな行動になる。今後も、町議の立場で、緒方県議、松田県議をしっかり支援していく。